

国際金融とグローバル経済

令和6年9月18日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

金融というライフラインは、その資本力において経済を育成する。これら今日の世界経済の真実である。

また金融資本は必ず思惑を背後に有するのである。そのため、資本の移動が、世界の真実を表すことは正しいのである。

これらは資本力という基盤は経済の安全保障において、為替、権利、中央銀行などとともに、経済の独立性の確立を可能とできるのである。

また今日知的集積産業や、知的産業への転換は全ての産業分野において新たな生産性への転換をこれらとともに有するものであり、これらは人材の育成や教育環境において各国における格差が存在するのである。

新たな先端産業の技術力や製品力、資本力は明らかに新しいグローバル経済における現実と基準であり、企業経営においてこれらを否定することはできない。

これらは新たな経済政策は、これら知的進歩性への理解とそれら基準における新しい経済構造への転換を全ての産業において要求されるものである。

これらはまた高い利益性を知的産業が有することは琉憂すべきである。これら高い利益性は、知的集積産業における自己プレゼンスなのである。

これらは必ず世界経済への正しい理解であり、経済の運営はこれら現実において自国産業の保護と育成を要求されるものである。

これらは次世代という新しい現実が全ての企業における新しい要求であり、これらは明らかに既存基準や価値観を崩壊させるものなのである。

これらは企業が自己環境の転換や整備を再度新しい現実とともに求められることなのである。